夕刊 磐城新聞
三月十日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢(郵税金五錢)
廣告料 普通欄金六拾錢 雜報欄金九拾錢 五號十二字詰一行一回(場所指定ハ各增)
編輯印刷兼發行人 柏木 省 福島縣石城郡平町十六番地
發行所 磐城新聞合名會社 平町 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)

家庭平和に就て

古河炭鑛勞働係主任　前松佐嘉

一

東京の電車軌道には所々に安全地帶といふものが設けられて居ります。安全地帶と云ふのは此處に立つて居れば身の危險はないと云ふ事であります。東京の道は路種々ある交通機關が錯綜して居て歩行に一時の油斷も出來ませんが、併しこの地帶には人間以外のものは滅多に這入つて來ませんでありますから此處に立つて居るといふ事によつて交通上の危險を脱し得らるゝのであります。元來此の地帶といふものは獨り電車軌道に限らず、何れの場所、何れの社會にも必要なことで人間は終日終夜どこに居ても一切油斷がならないと云ふやうでは迚も生きて居られるものでありません。山野に棲む鳥畜類の如きものでも自ら巣を造つて其所に安全地帶を拵へて居ります。呪んや複雜な社會的生活を營む人間は何處かに高枕でのんびり寛ぐ所がなければなりません。言葉を換ねて申しますれば一切の不安と、心配と、氣兼ねとから脱して心をきなく身心の休養をする所が必要なのであります

然らば人間は一體何所に眞に安全地帶を求むべきでありませうか、私は之を家庭的に見出したいのであります。勿論家庭以外にも吾々の身心を寛げる所は少くありませんが、それは概ね一時的の休養でありまして家庭のそれとは比較にならないものであります。私共がよく實感する事ですが時たま名所舊跡の遊覽に出掛けて眼新しい色々の物を見たり、又は平素味はひ得ない物を味はつたりして非常な爽快を覺えるに拘らず、心の何處かに落ち着いた所がなく何だか一種の不安が去らないといふ點であります。殊に會社の要件を帶びて出張した場合の如き一層此の感を増すのであります。又親戚などに逗留がけて行つた場合、先方が如何に大切にして呉れても其處に何時までも居らうとは思ひません。假令自分の家が茅屋であらうと、食うに困るほどの貧乏であらうと、矢張り一日も早く自分の家に歸りたい氣がします。そうして歸つた時の感じは宛ら牢獄からでも脱しなやうな氣分のするものであります。彼の澤渡村あたりから炭燒の子が父親と共に平町へ炭賣りに來て日が暮れかゝると早く歸らうちやないか、と父親に話して居るのをよく耳にするのでも我家程い所はないと見えます。我が家庭に絶えず居る者は家庭の有難味が解りませんから兎角の苦情もよく言ふものでありますが一たび家庭を離れると我が家庭の有難味がしみ〴〵と感じられるものであります

冬季雜詠

谷口雄二

○非常時を賣物にする押賣り、新聞を買はぬと愛國者でないと云ふ
○巨大なクレーンに非常時の叫び、鐵材をつかんで搦り上る
○嘯きつゝ町迄物買りに出た、八ヶ月の腹はこんなにも多きい
○枕邊の鏡台に笑ひかけた女、白つばい肌に一點の悔が殘つてゐた
○落ちてゐたおくれ毛取つて見ればひそやかな君の香を夢みる

高月句會例會句集

兼題『凧(いかのぼり)』

いかのぼり遙かの空に五つ四つ　淡路千鳥
いかのぼり流れて雲に入りにけり　岩崎十絲
いかのぼり唸りをあぐる廣野原　武田曉美
土橋行く人の見あぐる繪凧哉　士岐紅果
大たこのゆつたり上る小松原　荻野天仙
日暖か障子に凧のうなりきく　日野良亭
島の凧舟のへさきに揚りけり　大内秀峰
たこ上ぐる兒の頰赤し空青し　淡路千鳥
大たこのうなりに小たこ戯むるゝ　大内秀峰
茶畑、たこのうなりの强き日か　岩崎十絲
大たこのうなりや小たこ音もなし　佐藤湖晴
大いなるたこ荒浪の繪なりけり　渡邊何鳴
日本たこについてのぼれり滿洲だこ　只野閑月
數々のたこ破れかゝる魔木かな　同
電線に吊られて泣くや奴だこ　酒井耕影
飛行機の遠くをすぎて凧揚る　士岐紅果
空一面繪たこ字たこや春の風　酒井鐘樓
山風のすさべる凧をおろしけり　渡邊何鳴
とりどりのたこに賑ふ村端れ　酒井鐘樓
下駄も切れ凧も破れて歸りけり　日野良亭
大凧に飛行機暫しさまよへり　酒井耕影
手ぐる程糸のもつれていかのぼり　武田曉美

席題『椿』

亡き友の墓前に赤き椿きかな　酒井鐘樓
椿浮く川上に見る土藏かな　士岐紅果
友の計にたそがれ行くや落椿　酒井耕影
落椿波紋の岸に及びけり　岩崎十絲
椿咲く垣根あかるし友の墓　佐藤湖晴
なぎの斷崖映ゆる椿かな　大内秀峰
ボッタリと落ちし音あり椿かな　日野良亭
岩蔭にひつそり咲くや紅椿　武田曉美
流れ行くつばきと春を行みけり　荻野天仙
舘らつてつばき落ちたる水邊かな　渡邊何鳴

社會の今日

3月11日
△神武天皇崩御(紀元七六)△武田勝頼天目山に亡ぶ(天正一〇)△日銀二厘方利下げ(昭和七)△張學良は正式に下野通電を發す(同八)

3月12日
△水戸烈公生る(寛政一二)△日曜日を休暇とす(明治九)△ダヌンチオ生る(一八六二)△マッチ王スエーデンのクロイゲル バリーで自殺す(昭和七)△ドイツ内閣は舊帝政時代の國旗採用を決定す(同八)

○

梅散るや庭廣々と竹の垣　月斗

氣にかゝる仕事は持て と春の街出て歩きたき夜ごろとなれり　村野次郎

講談 浪人長屋 (34)

日岐武志作　月草道子畫

じゆそのひな

『おらア、すつかり忘れてゐたんだが……』
と言ひながら、太七は紺のどんぶりの中から、なにか小さな紙切れの様なものを、つまみだした
『何?』
『ほら、これだよ、たいへんなもんさ』

と、太七が下から差し上げるのを、靜香は手に取つてみると小さな女の紙雛である
『お雛さんだね』
と、言ひさしたが
『あッ』
と、驚いた
兩袖をかきあはせた雛の胸のところへ『靜香』と書いてあり、そこへ縫ひ針が一本、ぷすッと無殘にも刺しとほしてあるのだ
――呪咀の雛だ
ぎくッと、靜香は自分の胸を刺されたやうな氣がした
『まア』
サッと顏色が變つた
――呪はれてゐる恨まれてゐる
『まあ、誰がこんなことを……』

あわてゝ針を引抜いたがその手はぶるぶるふるへた
『誰つて、おらアすぐ感付いただよ。そいつはア、ふくべ屋の前で拾つたんだ。ほら、分るだろ、あの阿女さ』
太七は眞劍に、おこつてるやうにいつた
『お新さん?』
『さうに、きまつてらアよ!』
た新といふのは、追分宿の旅籠屋ふくべ屋の娘である
『あの阿女は、先から鐵彌さんに惚れてゐたんだよ。だからお靜さんとこを戀敵に思つて、そんな恐ろしいことしたんさ、さうにきまつてゐるよ』

『お新さんが、こんなことを』
靜香は半信半疑だつたが外に恨まれるやうな覺えはない。お新さんが鐵彌さまを思つてるらしいことはがねてから知つてゐたが、こんなおそろしいことをする人とは思はなかつた
『恐ろしい阿女だよ、あんちく生』
太七は、自分のことのやうにぷつ〳〵おこりながら手綱を握つてふたたび歩き出した
『まア、恐ろしい』
靜香は、櫓の上から針を捨てた、それからふるへる手で紙雛を手切つて捨てた
美しい顏が、まつさをだつた
淺間山では
わしやないけれど
胸に煙りが
絶えやせぬ
馬鹿の太七は、雛のことなどけろりと忘れて、もういゝ聲で唄つてゐた
と、先方から一匹の犬がまつしぐらに走つて來るのが見えた
『あッ、圓が――』
靜香は遠方から駈けてくる白い犬を見ると、うれしげに叫んだ
『あゝほんだ、圓公だ圓公だ』
と、太七も合槌した
『今日は圓に隱れて、こつそり來たから、あたしの姿が見えないので今頃になつてかぎつけて來たんでせう
『可哀さうに、なア……』

犬は、みる〳〵うちに近づいて來た
たくましい、白い土佐犬である
『圓!圓!』
と、靜香は叫んだ
圓は立ち上つて、主人の姿を見上げた。わん!
と、一大きくほえた
太七は、また唄ひ出した
唄に合せるやうに、馬の鈴がしやん、しやんと鳴つた
秋の晝の陽が、うらゝかである。靜香は、ゆらりゆらりと馬の背にゆれて、龍雲寺の言葉も、呪ひの雛のことも一瞬忘れてゐた

廣告

ランドセル
手提カバン
・小學生用運動靴・
總皮ランドセル大型 ¥ .75
極 大型 ¥ .90
牛皮特選ランドセル ¥ 3.00
ツルヤ
平四 電140

第廿八回 生徒募集
△第一學年 壹百名
△第二學年 若干名
△受驗科生 若干名
出願期日 四月四日迄
新學期 四月四日
本校職員
校長 從五位勳五等 本多忠綱
平塚二郎
佐藤熊太郎
志田季雄
佐藤信夫
猪狩登三男
本校の特色
1入學金全免 2學費の低廉 3實業科目の特設 4特待生の待遇 5寄宿舍の設備
磐城青年學校 平町 城山

前田醫院
院長 前田清美
山町電話一二四

一、派出多忙に付會員募集
一、本會は各御家庭の便宜を計御手不足の場合に臨時に御手傳に上ります
姙産婦や患者の附添、家庭雜用一切 派出料一日金五十錢
遠近に不拘堅實なる婦人を派出させます。
福島縣石城郡平町八幡小路八三
平家政婦々人會 電〔呼〕九三
會主 鵜沼隆子
(寄宿の便あり)

生徒募集
經濟非常時職業婦人トシテ時代ノ要求ハ洋裁ニアリ、當校ハ最近歸朝ノ敎師ニ依リ、最新式敎授法ニヨリ短期間ニシテ裁斷出來得ルヲ目的トス
米國裁縫裁斷學校卒業 敎師
酒井洋裁實科學院 平驛前(元マルカ跡)

所得税營業收益税の申告を簡便に取扱ひます
税務會計の年中行事、所得純益の申告期が迫りました。本年は非常時豫算編成の結果壹億參千萬圓の自然增收を見込んで居ります。勿論この大部分は所得税、營業收益税で增税の理由が多分に含まれて居ります。手續に欠陷なくして正當なる申告を期間中に提出することは大切な事です。
皆さんの御便宜のため申告書の作成、帳簿整理の手傳ひを致します。無料にて御相談に應じます。
平町字大町(舊公會堂池前通り) 三共商事合資會社內
取扱者 高橋義 電話三六〇番

入學記念時計賣出し
お目出度い御入學御進學が近づきました。御祝に是非正カクな御時計及御眼鏡を御求め下さい。學生樣用にかぎり拾ケ年保險付
特價 金七圓ヨリ
近眼鏡(玉ガラス入) 金壹圓五十錢ヨリ
右のサービスは 三月十五日ヨリ四月十五日マデ
(小店員數名募集)
平町五丁目(釜屋前) 金光堂時計店 電一九五

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します
親切 叮嚀…… 料金は極めて低廉です
姙産婦の御家庭 御病人の付添 炊事や雜用 お留守居番 年寄やお子さんの付添
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話〔呼〕六五二)
上原家政婦會 會主 產婆 上原通子

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町(元合津醫院跡) 電話五五九番

眼科專門
賀澤眼科
平町南町 電話七二番
診療時間 每日 自午前八時 午後九時迄

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ(松崎ニ)
三九二タクシーヘ
(デンワ、ミクニ)

磐城共濟病院 電話六四一番
內科 小兒科　院長 醫學博士 石山謙郎
產科 婦人科　副院長 醫學士 五十嵐雄二
外科 皮膚性病科 耳鼻咽喉科　部長 醫學士 有馬勇二郎(每日診療)
X光線科 物理療法科　醫學博士 石山謙郎 技術員 石山彪
藥局　藥局長 藥劑師 吉本孝平
衛生試驗所　獸醫 高後利雄 事務長 鈴木寶雄
△診療時間 午前八時より午後五時迄

高久病院 平町田町(電話五三一番)
內科 小兒科　醫學士 高久忠
外科 花柳病科　新潟醫學士 赤羽淸
耳鼻咽喉科　藥劑士 佐竹[illegible]藏
レントゲン科

耳鼻咽喉科專門
山內醫院
平町田町七〇番地 醫學士 山內亨吉
入院隨意 病室完備 (看護婦見習一名入用)
電話六九一番

當局の裁斷如何では 直に他へも波及する
玉川村が入山相手の鑛毒騷ぎ
地方一般結果を重大視す

藤原川の魚族斃死を以て坑內排水の鑛毒に因ると主張する玉川村と、其間何等の因果關係無きを聲明して居る入山炭鑛との間に於ける紛糾は結局科學的の裁斷を俟つに非んば解決せぬと云ふ處から玉川村では八日所轄仙臺鑛山監督局に對し

本村を貫流する藤原川の灌がい堰路は萬年、島袋、富岡の四堰よりなり、この流水灌がい地は全村水田四百七十九町步中二百四十五町步に達し油質混入の排水のため苗は枯死し稻もことごとく白葉化し結實期に入ると半實りの穗くびが折れ、米質も粗惡で田一反步につき二俵乃至三俵の減收を見つゝあり二毛作は全然行はれないこの惡水のため耕地土壤が年々荒廢し加へて魚族の斃死減少から本村內に漁業を營むもの二三十戶に及びしもその職を失ひ農家は採種期も近き苗代灌がい用として不日堰止期も迫りもし現在の如く鑛毒流下しつゝありては苗代全滅はもちろん一般耕地に對し純農本村の興廢にかゝる由々しき問題にて……云々

を理由とし水質の分析檢査をなす爲技術官の派遣方を申請したが由來該問題は單り入山炭鑛對玉川村の研究事項たるに止まらず、差當りの實例を擧げた丈けでも好間村小田炭鑛（小田氏個人經營）に於ける同村內の草及下流稻荷下の如き、或は磐炭を上流とする內鄉村の大部等何れも先年來幾多の論議を試みられ、之に伴ふ補償要求等に就ては今尙ほ全く終熄するに至らず依然或る種の內燃を續けつゝある折柄なので灌漑水の分析結果その他當局の裁斷如何によつては之れと同樣の事情に置かれてある炭鑛關係の各町村でも當然何等かの自衛策に出るものと觀られ炭鑛對農村の近來に於ける大問題として成り行きは非常に重大視されてゐる

江名漁業組合で 鋼製新銳船建造
四萬五千圓の巨費を投じ 六月中旬頃竣成豫定

江名町漁業組合の遠洋漁業船は石巻市山西造船所で建造することになり一昨八日同市仲瀨同造船所で起工式を擧げた、同船は鋼製百二十五噸デーゼル二百五十馬力の新銳船で工費四萬五千圓六月中旬頃までに竣工の豫定である

菊栽培奬勵
入山の薫秋會 趣味向上の申合せ

毎秋十一月菊花大會を開いて精彩を放つて居る入山薫秋會では向後益々斯道の向上を圖るため此程委員會を開き左の如き諸項を申し合せた

一、會員募集に關し各委員は十週年記念大會開催の趣旨及び菊花普及勸說募集に努むること
一、各委員は優良種を所有する會員より分讓を受け擔當者に夫々持ち寄り其事業を援助する事
一、新苗購入その選定は幹事に一任す
一、殺虫劑及びラベル等の購用土は會より配付す
一、菊針肥料輪臺等申込を受け共同購入の便宜を圖る事
他數項を協議した

一日約十噸生產
江名製氷の操業に 漁業家何れも大喜び

江名漁業組合では經費の節約と需要の圓滑を圖るため既報の如く經費六萬圓を投じ製氷會社の建設を其筋に申請中であつたが愈々去る七日附認可されたので近く本格的操業を開始する事になつた、一日の生產高は約十噸であると

郡下籾貯藏高檢査
七吏員が昨日から開始

郡內籾貯藏檢査は菅野、二瓶、石川、日下、吉田、大塚各吏員、及木田部會主事補により昨九日から開始したが町村別現在高左の如し

所	石數	組合數	庫數
大浦	三三四	四	八
草野	一,九三六	三	二七
大野	一,六三二	一	八三
四倉	一四三	一	四
川部	九六〇	六	一六
田人	一五〇	四	五
勿來	一,〇四〇	八	一〇
錦	八〇〇	一	一八
植田	一,三九一	一	三
山田	八〇〇	一	三
入遠野	五〇一	三	三九
上遠野	一,五〇一	二	一六
小川	一,〇二四	一	一七
赤井	七一六	七	一四
好間	六六四	三	二四
鹿島	九八五	二	一七
渡邊	九七七	一	一六
泉	一,三二七	二	二三
平	二一六	一	一四
平窪	五六〇	一	一
夏井	四六二	五	一八
高久	八四二	四	二六
江名	五〇〇	一	二
豊間	九七	一	三
磐崎	一,七〇八	三	三六
玉川	一,三三三	一	一三
神谷	七九三	八	二
永戶	一六	三	八
箕輪			
飯野	一,〇三六	六	一七
澤渡	四九七	三	四九
三坂	一,四四三	八	九二

○○○○ 籾貯藏況視察 郡農會米山技手は明十一日から三日間三坂、澤渡方部の籾貯藏狀況を視察する

惡水豫防組合總會

平町外二ケ村より成る惡水豫防組合總會は來る十七日午前十時から町會議事堂に開き決算、豫算並に組合解散の件を附議する

記帳講習會

郡下統計協會主催記帳講習會は吉田縣統計課長出張の下に左記日割で行ふ
十七日—平町團体事務所 十八日—小名濱 十九日—植田

○○○○ 兩孃入學許可 磐女校此期卒業の左記兩孃は各頭書の入學を許可された
女子大國文科、鯨岡禮津子、東洋齒醫科專、平井貞子

○○○○ 作山氏講演會 草野小學校では明十一日午後一時から福島教育新聞主筆作山美八氏の講演がある

○○○○ 磐崎兒童見學 磐崎尋高校卒業生男女百餘名は今十日正午平局を見學した

郡町村長支會總會

既報の如く昨九日午後一時から役場會議室に開き七年度歳入出三千二百九十八圓六十九錢、來月十日執行の忠魂祭典費用千六十七圓、並に參列すべき遺族、傷兵は今月末迄調査中

耕地整理記念碑竣功
けふ欣浄寺畔で除幕式

平町第一區耕地整理事業は明治四十年三月完成、昨夏來山崎與三郎氏らが發起となりこれが記念碑を仲町欣浄寺畔に建立中であつたが此程竣功したので今十四日午前九時から除幕式に併せ物故した發起人の追悼を行つたが同碑は高さ約二間で篆額藩公安藤子爵、撰文青沼平町長、筆者山崎與三郎であると

○○○○ 高坂兒童見學 內鄉村高坂校高等科卒業生は昨九日磐炭綴製作場を見學、今十日の陸軍記念日には全校遠足、明後十二日には同卒業生が平方面を見學する

德永理工學博士視察
今月下旬滯郡日程

來る三十日仙臺東北帝大に開かれる地質學會に出席の早大理工學博士德永重康氏は既報の如くその途次左記の如く常磐地方の地質を調査すると
（二十四日）日立銅山見學（二十五日）助川より湯本へ、御齋所街道の約一里に亙る第三紀層踏査、同町松柏館一泊、（廿六日）磐炭坑內見學、午後四倉行き、玉山溫泉一泊（廿七日）玉山石切場の白堊層踏査、原町一泊
既報の第三紀中棲息の陸棲肉食獸カルニボラの珍化石を發掘した双葉郡富岡町海岸改修工事現場も實地踏査をなす豫定であると

○○○○ 平商生徒係會議 平商校では昨九日午後三時から第一回の生徒係會議を開き左記諸項に就いて協議した
敎員週番腕章作製、應接室に曇硝子使用、月例會議開催、通學班改善策、本會議關係帳簿作製、新入生使用軍靴拂下げ

○○○○ 平窪築堤進捗 二ケ年繼續事業の夏井川改修工事は目下人夫約五十名出動平窪村常勝院地內の積堤工事を

四倉の大綱着業
今曉百餘名が乘り込み 濱一帶活氣を呈す

四倉町坂本漁業部大綱從業員一行百餘名は今十日早曉の下り準急行で四倉濱に乘り込み暫時休養の上投網準備に取りかゝつたので濱一帶俄かに活氣を呈し初めた

大日本炭鑛で 瓦斯爆發
坑夫七名負傷

昨九日午後五時頃勿來町大日本炭鑛出藏坑內に突如ガス爆發折から入坑作業中の採炭夫根本久治（三六）松田彥四郎（三二）大平勇（三六）羽田慶次郎（三二）の四名は瀕死の重傷で目下附屬病院に入院加療中で同山家武（三二）安孫子與八（四二）白岩政雄（三二）の三名も全身數ケ所に負傷手當て中であると

葬式費に事欠かせぬ 紺屋町睦會の申合せ
白井家の寄附で基金纏まる

家族の死亡に當つて差當りの葬儀費用に礙と行き詰るのは世上に有り勝ちの事である、殊に近まに身寄りとても無い旅の人に於て殊に然り平町字紺屋町二の組、五の組三十八名はこの急場を救ふ方法として佐藤作平氏の主唱で協議の結果『睦會』を組織
毎月一戶十錢宛總額五十圓に達するまで積立て組員の葬儀にこの五十圓を準備費用に貸付ける、不用な人でも必らず之を借り一回五十錢の謝金を睦會に納める、他町に轉住する組員には積立金を返す
世話人として二の組長松田榮橋、五の組長山野大五郎の兩氏を擧げ第一回積立金三圓八十錢を集めたが、之の有意義な企てを知つた白井一郎氏は先考供養の意味で五十圓を寄附したが白井氏の厚意でこの有意義な計劃が直ちに實行出來る事になつたので組員は非常に感激してゐる

○○○○ 神谷農組總會 神谷村農事實行組合總會は今十日午前十時から小學校で開き產業組合設置に關する講演もあつた

○○○○ 郡下稅務主任會 石城郡下稅務主任會は來る十五、六の兩日平署會議室で開き縣稅法規の研究をなす

投稿 檜 投書歡迎

御兩人待つた ○○○○

◇知つたか振りの知つたか振りつこなんぞは餘り見よいものではない。知つたか振り生君とS子孃に今の中（知つたか生君の反駁の出ない中）に知つたか生以上の知つたか振りを一席エヘン

◇先ず第一に『神統正統記』の判決、これは『神……』と書いて『ジン……』と讀むのが正しい、S子孃は『神』と『人』との誤字だけでといつたが『だけ』は良くない『神』と『人』との誤を『だけ』で濟ますなんぞは誠に良くない

◇若し問題にこのやうな誤字があつたなら刷り直すことだ、豫算が許さなかつたなら先の問題の裏に刷るべし。それから『そつと先生と話し合ふ』これは同感、さうすべきです

◇次は十干十二支の事 第三校の兒童君が『甲戌』と書いたり『甲戌』『甲戌』と書いたりして『コウボ』と讀んでゐる、これは私も見た

◇辛ひS子孃のお子さんは『甲戌』と書いたが『コウジュツ』とは讀まなかつた筈、先生がさうは敎えなかつたから。知つたか生君の『卒業聞ざはに十干十二支を敎える』贊成だ、それまでは小學校なぞでは不要のもの

◇書初めに書かしたのは先生の好み、これは良くなかつた。兎も角先生に誤のあつた場合はS子孃の言ふ如くそつと正誤を賴むやうにして欲しい、知つたか生君、この點常識？が足りなかつた
（櫻ヶ丘隱士）

受胎期を算へて 原告の女敗訴
赤ん坊よ何處へ行く！

双葉郡上岡村大字上手岡字上千里一〇四生れ同郡大野村大字大川原字森頭八無職菅野傳（二一）親權者菅野クラヨ（三八）が安齋辯護士を代理人として同字石井傳二（代理人千葉辯護士）を相手取り平支部に提起した私生子認知の判決は昨九日午後三時より開廷
傳二はクラヨが傳を分娩した八年九月十二日から懷妊の最長期たる約三百日を遡つた七年十、十一月頃同村縣道富岡線土木工事の合宿所に居り七年六月十六日から八年五月二十日頃まで密會した事はあるが受胎期間以外である
とし證據不充分の理由で原告の敗訴となつた

○○○○ 四倉忠魂碑決定 四倉町在鄉軍人分會では去る一月以來忠魂建碑準備中の處此程愈々寄附金募集、敷地（公園）等決定近く起工する事となつた

魔の鰐ヶ淵に 美人の死体浮く
身元不明で假埋葬

一昨八日午後八時頃久の濱海岸波立藥師前の怒濤巖を嚙む鰐ヶ淵に女の死体が浮き上つて居るのを通行人が發見、屆出でにより四倉署から神永部長出張檢視した處、推定年齡二十歲位、色白豊頬の美人で一時間以前位に投身したものらしく身許其他一切不明、町役場で假埋葬に附した

○○○○ 放火魔に二年半 放火魔平町月見町二七酒醤油小賣商同區火防組長伊藤喜一郎（四二）に係る放火事件は今十日午前十時半中島裁判長から求刑五年に對し懲役二年を言渡された

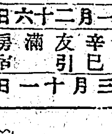
○○○○ 一家四名渡米 泉村驛前雜貨商佐藤一平（三九）君一家四名は來る十七日神戶發渡米の爲今十日午前九時同驛を出發した

○○○○ 青年校に劍道部 磐城青年校では來學期から劍道部を新設する事になつた

○○○○ 平青訓終了式 十七日午後七時より終了式を行ふが今十日午後七時から第一校で送別會を開くと

挨の巻

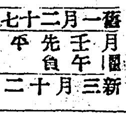
數日來平署內外に一奇觀を呈して居た湯本賭博團の沒收軍雞二十二羽の珍入札は今十日午前十一時から署前で行はれた仲買人を初め料理屋十餘名參集、高橋司法主任立會の下に行はれ最高二圓四十五錢最低七十八錢で落札、舊主の送檢も知らぬげに闘志滿幅の肩を聳かし一際高くひるごきをつくつて引取られて行つた



舊一月二十六日 日曜 辛巳 友引 滿 房宿 新三月十一日

諸判定應需 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 名聲大に揚り榮達すべき幸運の日文書注意▲二黑の人 得意にあふるゝ日起業開店吉なれど怪我注意▲三碧の人 逆運に見舞はれ爲す事失敗多し病盜難注意
▲四綠の人 有利の立場より轉落せんとする日自重肝要▲五黃の人 進んで益あり退て損なく自由に行動して吉▲六白の人 計畫準備整ふとも未だ實戰の期至らざる日▲七赤の人 親和深く家道大に揚り福祿に惠まる幸運日▲八白の人 諸事好都合に展開する日相談契約中介に吉▲九紫の人 不祥を免れざる日萬事進むに凶病怪我注意



舊一月二十七日 月曜 壬午 先負 平 心宿 新三月十二日

▲一白の人 身分の高下に限りなし現狀に滿足するが吉▲二黑の人 內外の展開自在なる幸運の日耐忍努力せよ▲三碧の人 交涉事にて後日まで反目すべき破目となる▲四綠の人 躁鬱は身をみがくのと石智くの辛棒が至極吉▲五黃の人 膽を練り智をみがき勇奮するが吉建築は見合▲六白の人 氣運に異狀なけれど婦人に就て過あり注意▲七赤の人 衷心よりせい實を盡して人に交れば吉となる▲八白の人 積極的に萬事を進行すべし開店旅行移轉吉▲九紫の人 氣運沈滯の日何事に依らず控ゆるが極安全

十一日
日出 五、五九 月出 前二、〇二
日沒 五、四四 月沒 前〇、四七
滿潮 前四、二五 後〇、五〇 干潮 前八、五〇 後九、〇五

十二日
日出 五、五八 月出 後三、四八
日沒 五、四五 月沒 前二、〇一
滿潮 前四、三五 後二、四〇 干潮 前九、三五 後九、五五

職工徒弟募集廣告

◇大工職 五名
◇女工 五名
◇徒弟 八名

◎挽物及木工玩具製作トシテ合理的製作方ヲ望ム人
資格 年齡—拾三四才ヨリ拾六才位迄 學歷—尋常科卒業又ハ以上ノ事
◎御希望者ハ至急御面談又ハ御問合セヲ乞フ

各種挽物 木製敎育 玩具木馬 專門製作
平町十五丁目（共濟病院向）
佐藤木工製作所
電話三八一番（呼） 振替口座東京五七一七六番

專門 一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス 呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
醫學士 川井重之 女醫 川井安子
川井內科診療所

本縣ノ鄉土民謠生ル コロムビアレコード
福島音頭……（其ノ一節）
『ハアー磐城平のツツジケ岡に咲いたアノ花 流す浮名は新川にソレサツテも平はヨイトコロ手拍子揃エテヨーイヤサ……』
コロムビア特約店 平四丁目 會田時計店 電・三六三

◎日本石油株式會社特約店
フイジングサン石油株式會社直油特約店
關彰商店平支店 電話六一番
本店 水戶線下館驛前（電話五五番）

營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油、油類、胡摩、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ

支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所 久慈濱、大津、平潟